をいに

もなくほらあなへってきた子ぎつねは、

()

「おちゃん、おててがつめたい、おて

てがちんちんする。」

とって、ぬれてぼたんになったを、さんぎつねのにさし出しました。さんぎつねは、その手に、はあっとをふきかけて、ぬくといさんの手でやん

わりつつんでやりながら、

－18－

「もうすぐあたたかくなるよ。にさわ

ると、すぐあたたかくなるもんだよ。」

といましたが、かわいいぼうやの手に

しもやけができてはかわいそうだから、になったら、までって、ぼうやのおててにうような、の手ぶくろをってやろうといました。